

西新井		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	5	0	・先生の変わりが多い（子供説） ・男性の職員さんを増やしてほしい ・どんな専門の方が何人入っているのかわからない ・見学時のみ保護者が行っているのでもわかりません
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	4	0	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されているか	22	0	0	・カレー作り、すごく喜んでいました
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	4	0	・祝日、夏冬休みに昼食に調理活動をして頂けて助かってます
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	15	2	・週1・2回しか通所してない為、他の施設との交流がどうなっているのか不明
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていますか	22	0	0	・満足している
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1	0	・通所してまだ日が浅いのでよくわからない
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	12	9	1	・どんな家庭の子どもが通所しているのかよくわからない ・保護者同士の集まりが開催されていますが、参加できていません
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	0	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	22	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	2	0	
非常 時等 の 対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	2	0	
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	8	0	・契約の時にマニュアル等に対してよく説明されていないのでよくわからない
満足 度	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	7	1	・年2回は有ったとの事（子供説） ・通所時の時間帯にあるのかよくわからない
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	1	0	

児童デイサービス リズム西新井 評価表（事業者向け）

回答8名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	5	0	特性の違うお子さんへの配慮、またクールダウンの場所の提供
	②	職員の配置数は適切であるか	3	4	1	他書のあるお子さんやパニック時の対応は人員不足を感じる
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	6	2	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	8	0	0	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	
	⑥	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	会社全体や事業所毎の勉強会を月1回以上行っている
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	0	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	0	
	⑫	活動プログラムのが固定化しないように工夫しているか	7	1	0	
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	0	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	3	0	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	
関係 機関 や 保 護 者 と の 連 携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	2	0	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	1	6	1	医療的ケアが必要な子を現在は受け入れていない

関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	2	就学前の通園先の方がそのまま相談員をされていることもあり、常に情報共有や相談をおこなっている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4	0	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	8	0	0	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	6	2	0	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	1	0	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	送迎時や連絡帳などでお子さんの様子を伝えている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	0	6	2	
保護者への説明等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	3	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	毎月、会報を発行し活動の様子を発信している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	4	
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	6	1	
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	0	
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をいっているか	8	0	0	虐待委員会の設置と研修を実施している
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	0	身体拘束を行う可能性のある利用者様には事前に保護者様に説明し、計画書に同意をいただいている
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	5	0	保護者様にアレルギーについて申告してもらい、提供しないようにしている
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	

放課後等デイサービス評価表 付記

自己評価表

改善目標

項目番号		改善目標・工夫している点
1	スペース	基本は確保されている。机をたたんだり、端に寄せて活動することもある。活動する子どもの特性により、クールダウンが必要な時に十分なスペースが確保されているかどうかどちらともいえないと考える職員がいた。クールダウン時に勉強部屋にバーテンションでしきる。事務所スペースに職員と入る。
2	職員配置	お迎え時間が重なった際や子どもの不穏時に十分かどうかと考える職員がいた。お迎え時間が重なった際はパートスタッフの出勤時間を早めたり、他事業所職員に応援を依頼して準備している。不穏になりやすい子どもの最近の様子を鑑み、対応に慣れた職員をフロアに残すようしている。
3	バリアフリー	バリアフリー化されていない。現在、足の不自由な子どもはいない。
7	外部評価	第三者機関のことを知らない職員もいた。第三者機関はあるが業務内容についての評価はない。
22	医療的ケア	現在、医療的ケアが必要な子どもはいないが、引き受けるとなると必要である。
24	卒業後	していない。障害福祉サービス事業所等から確認があればお伝えする。
29	ペアレントトレーニング	保護者の方へ対応のアドバイスは行っている。
32	保護者間連携の支援	父母の会はないが、保護者同士の連携支援として、保護者会を開いている。
37	地域に開かれた運営	近隣への歩行・公園遊びの際、挨拶を交わすようになっている。活動に必要な買い物を近所の店舗に子どもとでかける機会を作っている。
38	緊急時・防犯・感染症マニュアルの周知(職員・保護者)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは作成して、職員に周知しています。保護者への広報は出来ていません。
42	食物アレルギー	保護者から医師の指示書は提出していただけていないが、アレルギーの有無・対応のしかたは聞いています。

保護者評価の低い項目の検討

⑥放課後児童クラブ・児童館・障害のない子どもとの交流

⑩保護者同士の連携支援